学校番号	3006

令和８年度　工業デザイン科

教科	工業科	科目	（選）人間工学	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	暮らしの中の人間工学　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザインのプロセスにおいて、人体の寸法や動きや人間の心理的な特質を理解し、配慮していくことは必要不可欠です。この授業では、私たちの周りにある様々な人間工学の例を取り上げて考察するとともに、人が使用する製品を自分でデザインする際に、様々なデータを分析し、どのようなことに配慮しながら進めていくのかということを考える力を養います。さらに製品を安全かつ安心に使用できるためには、どのように設計すればよいのかを考えていきます。

2　学習の到達目標

様々な事例をもとにデータを分析し、人間工学的な配慮がどのようになされているかという知識を習得するとともに、それをもとにした応用ができるための思考力を身につけ、自分でデザインしていく製品を、快適にかつ安全に使用できるように設計できるようになる。またまたデザインプロセスにおいて、得た知識や情報を制作チームのメンバーと共有し、コミュニケーションをとりながらより良い製品作りができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	価値あるデザインに込められた機能や人間工学の果たす役割について理解できる。寸法形態、運動機能、感覚機能からの理論およびデザインの重要なファクターである視覚心理からのアプローチからの理論が理解できている。	エルゴノミクスを適用して効果のあるデザイン分野について考察させることで、まとめたデータを使っていろいろな生活用品のデザインの評価することでリデザインができ、それを人に伝える能力を身につけている。	授業に意欲的に取り組むことができ、学んだないようを授業ノート、レポートで整理しまとめることができる。また説明をしっかり聞き、設問に対して的確に答えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	人間工学の基礎的事項	人間工学の基礎的事項	a:人とモノとの関係を理解するとともに、人間工学を支える分野や背景の知識を身につける。 b:人間工学の必要性について考え、その内容を表現できる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題プリント	提出ノート
	人間工学の応用と展開①	寸法形態からのアプローチ	a:人間の寸法や重さや区分、その測定方法や平均値を使用する際の注意事項等の知識を得る。 b:計測値使用における注意事項を理解し、その内容を表現できる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題プリント	提出ノート
二学期	人間工学の応用と展開②	運動機能からのアプローチ	a:人の体が動く仕組みや筋力について理解し、椅子の機能などについての知識を得る。 b:ものを持ち上げる時に脊柱にかかる力がなぜ大きくなるのかを考え、説明できる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題プリント	提出ノート
	人間工学の応用と展開③	感覚機能からのアプローチ	a:人の眼の仕組みや、他の感覚器官について、その機能についての知識を得る。 b:視覚を通した様々な現象について、生理学的観点から考え、説明することができる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題プリント	提出ノート

三学期	人間工学の応用と展開④	認知機能からのアプローチ	a:ヒューマンインターフェイスの観点から、身の回りの製品についての知識を得る。 b:学んだヒューマンインターフェイスの知識をもとに、自分で様々な製品に対して評価することができる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	定期考査 レポート 課題プリント	提出ノート
	デザイン分野の人間工学の展開	視覚の心理的アプローチ	a:心理的アプローチからデザインや造形について、視覚による表現の規則性や法則を学ぶ。 b:得た知識をもとに、様々な作品を鑑賞し、その視覚的効果について自分で考え伝えることができる。 c:人間工学に関心を持ち、意欲的に授業に取り組みことができる。	定期考査	レ定期考査 ポート 課題プリント	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度